

アムロジピン錠2.5mg「JG」の溶出試験結果

1. 試験目的

アムロジピン錠2.5mg「JG」につき、標準製剤を対照として溶出試験を実施した。

2. 試験条件

試験法：日局 一般試験法溶出試験（パドル法）

回転数：毎分75回転

試験液温：37°C

試験液量：900mL

試験液：日局崩壊試験第1液(pH1.2)、酢酸・酢酸ナトリウム緩衝液(pH4.0)、日局試薬・試液のリン酸塩緩衝液(pH6.8)、水(日局精製水)

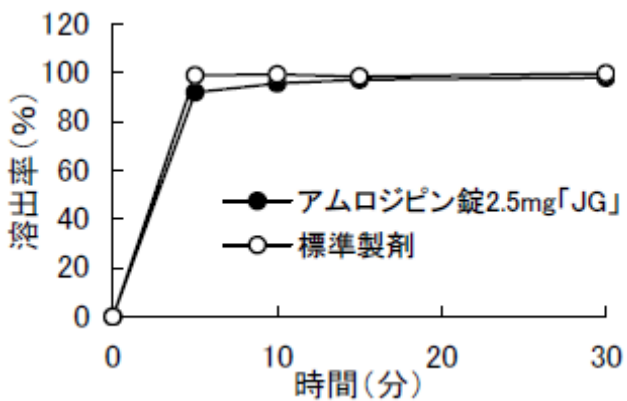
ベッセル数：各12ベッセル

測定方法：液体クロマトグラフ法

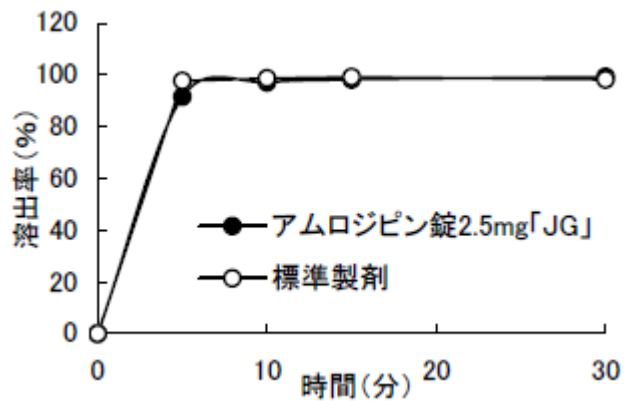
3. 試験結果

標準製剤を対照としたアムロジピン錠2.5mg「JG」の溶出試験結果を(1)~(4)に示す。

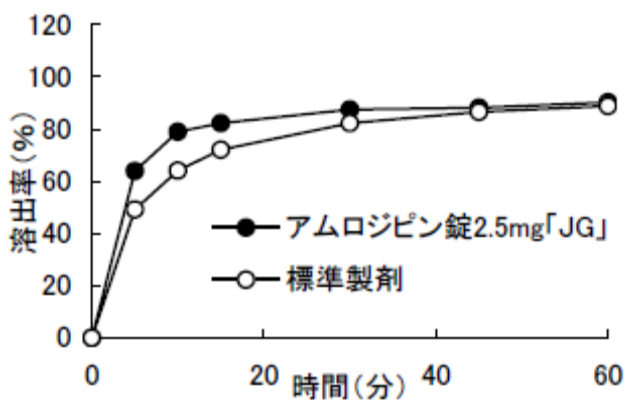
(1) pH1.2



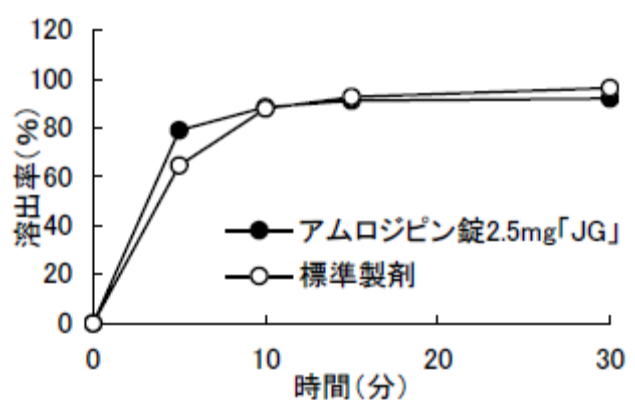
(2) pH 4.0



(3) pH 6.8



(4) 水



4. 結論

アムロジピン錠2.5mg「JG」の溶出は、いずれの条件においても標準製剤と同様の溶出パターンを示した。

平成20年5月